

平成29年6月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成29年6月9日(金)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時40分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	奥 津 晋	
	委 員	塩 田 澄 子	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	石 井 希 典	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	天 野 和 弘	統括審議監(企画調整担当)	小 西 洋 史
審議監(学校教育担当)	三 宅 泰 司	審議監(社会教育担当)	澤 岡 哲 雄
審議監(企画総務担当) (教育企画総務課長事務取扱)	村 田 守	教育企画総務課企画調整担当課長	杉 原 光 治
学校施設課長	齋 藤 和 美	就学課長	力 竹 孝 典
指導課長	岡 林 敏 隆	指導課教育支援担当課長	服 部 道 明
保健体育課長	山 田 裕 史	保健体育課課長代理	泉 利 絵
スポーツ振興課長	池 田 経 二	教育企画総務課課長補佐	澤 谷 好 太 郎
学校施設課課長補佐	剣 持 貴 雄	地域子育て支援課副主査	岡 崎 主 馬
就園管理課課長補佐	友 末 さより	事務局(教育企画総務課課長補佐)	生 田 裕 宣
事務局(教育企画総務課副主査)	山 口 博 正		
5 議 題 及 び 結 果			
報告第 12 号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認
報告第 13 号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認
報告第 14 号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認

6 教育長等の報告 [平成29年5月13日(土)～平成29年5月26日(金)]		
5/14	岡山市ジュニアオーケストラ新入団員対面式	地域子育て支援課
5/23	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課 保育・幼児教育課
5/25	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
教育長 石井委員 指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日程第3、事業報告について何か質問はないか。 ○ 2番と3番の「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」について、内容と実施状況等について聞きたい。 ○ 「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」、略して「学(まな)プロ」と学校には伝えている。これは、昨年度までは「いきいき学校園づくり」として、授業を見て、学校と教育委員会事務局の指導主事とが協議をする場を設けていたもの。それは4年に1回、数えて4年目の学校の全ての先生が授業公開をして、その内容について協議をするということで、平成12年からやってきた。それを少しリニューアルして、授業研究を深くやっていくということで立ち上げた新しい事業である。 内容は、4年周期のサイクルはそのまま生かしながら、3年目の学校に代表の先生1人に授業公開をお願いして、1つの授業をみんなで見てみんなで協議をするスタイルに改めている。4年次の全員公開は、そのスタイルは残しながら、日程については学校が適宜公開日を設けて公開をするというスタイルに変えたものである。 効果としては、3年次の学校は、1つの授業ということで、深い協議を期待していることと、授業公開する先生1人に任せるのではなくて、みんなで授業をつくり上げていくことをお願いしているので、校内での授業研究の活性化も期待している。 4年次については、学校によって公開をする日の数が違っている。授業公開が普通になっているような学校は、毎週水曜日の午後は誰かが公開するというので、こちらにも案内をいただいている。改めてという学校は年に3回ぐらい、日を設定して、4人、5人の先生がその場で公開をするというスタイルをとっておられるが、これはどの先生方も誰かに授業を見ていただくという機会があって、資質向上、授業力向上を期待して進めているところである。これについては、今年うまくいけば、1年次、2年次の学校も経年的に授業公開をする文化ができればと期待している。塩田委員からは、6月14日に東山中学校へという御希望をいただいているので、これは4年次の公開になるが、御案内をさせていただく。もし日程の御都合がつけば、おっしゃっていただければ調整をさせていただこうと思っている。 3年次は、広く中学校区の先生方をはじめ、参加を呼びかけているところだが、かなり多くの参加者、学校外からの参加者もあると聞いている。 	
藤原委員 指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ それに関連して、今回の1つは加茂幼稚園だったようだが、ここには小中学校区の先生方はかなり行っていたのか。 ○ 小中学校の先生方は、かなりというところまではいかないのかもしれないと思う。小学校に比べて、幼稚園の参加者が少ないということは聞いている。特に小学校と幼稚園の接続の観点でいけば、小学校の先生にはしっかり幼稚園を見ていただきたいし、中学校の先生も行っていただくことで、新たな気づきも当然出てくるので、しっかり呼びかけていきたいと思う。 	
藤原委員 指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園というと、中学校にとっては遠い存在かもしれないのだけれど、今言われたようにきっと大事なものが見えてくると思うので、しっかりコマーシャルしてほしい。 先程、課長から、深い協議のために3年のときに授業公開は先生1人と言われたが、例えば、中学校だったら教科が違うが、教科を越えて、いろいろな教科の先生が集まるような雰囲気は出ているのか。 ○ これは、教科の壁を取り払うことも1つ効果として期待している。見方として、先生と子どものかかわりとか子ども同士のつながりがどうなのかとか、そういったあたりをしっかりと見るということで解消できると考えている。教科の専門性についても、オーダーがあれば担当の指導主事が行く行かないに関わらず、対応していかないといけないと思っている。 	

藤原委員	○ ここ数年、授業研究、学力状況調査を踏まえてのことでもあったりして、授業力アップしていると思うが、こういう新しいプロジェクトの中でも、かなり「いきいき」を受けて授業力アップしていると感じているか。
指導課長	○ まだ公開の数は少ないが、ここ数年を見てみると、中学校の授業は変わってきたと、多少なりとも動いてきたという感じはしている。一方的にしゃべる授業は通用しないことはずいぶん浸透したという感じがしている。 小学校でいけば、5月、6月と公開のお題が挙がってきているが、特定の教科、国語、算数あたりに偏ってきているので、そこは、例えば理科の公開とかいうものがあってもいいのかなとか、音楽の公開もあってもいいのかなとか思っているのので、そういった中間報告のようなものを学校に返ししながら、深まりを期待したい。
藤原委員	○ 市教委から、例えば、道徳の公開を勧めるというように、少しヒントになるようなことを言う機会はあるのか。
指導課長	○ 校長会等のいろいろな機会を通じて伝えていかなければいけない。
藤原委員	○ ぜひ、いろいろな教科でやってほしい。 昨日ニュースで、新しい大学入試が変わるということに関連して中学校の授業が変わってきたというのを、途中から見たが、あれはどこの学校だったのか。岡山市ではなくて、私立かな。立命館大学におられた陰山さんが解説されていた。アクティブラーニングを踏まえて、大学入試が変わるということは、今の中学校の授業が変わらないといけないというので、今言われたように考えさせる、発表をさせる、問題解決するような、前から言われているような授業だったが、大々的に何分間か取り上げていたから、どこの地域かなと思った。岡山だったのか。見られた方、いらっしゃらないのか。
教育長	○ 前にテレビで見たことがあって、陰山さんが出ていたのは美作か赤磐ではないかと思う。
藤原委員	○ あっちのほうだったか。制服がある学校だった。
教育長	○ 確かに来られて、指導されていた。
藤原委員	○ だから、かなり中学校の授業が変わったと。だから、こういうプロジェクトなのかも、その授業研究の中にはそういう視点を入れたいといけないだろうなという気がした。
塩田委員	○ 馬屋上小学校も小規模校だが、複式もあるのか。
審議監（学校教育担当）	○ 馬屋上小学校は複式である。
教育長	○ 3クラス、低中高、全部複式。
指導課長	○ ここは公開のあり方について事前に相談があり、どうしたものかなということだが、やってくださいということでお願いしたところ、何とかやっていただいている。
塩田委員	○ 何か特徴とか工夫とかをされていたのか。
指導課長	○ どんな内容については十分把握はしてないが、こういった小さい学校の公開のあり方もこういう機会を通じて考えていきたい。
藤原委員	○ 今、岡山大学の附属小学校は、もう複式の研究をしていないのか。
審議監（学校教育担当）	○ ない。
藤原委員	○ その成果はどこかにはあるのか。
指導課長	○ 岡山大学附属小学校の複式は、他の小さい学校の複式と全然違うので、あるときから参考にはならないなという意見があった。
藤原委員	○ 今、研究すらないようだが、なかなか経験のないことをするのだから大変だと思う。
天野教育次長	○ 複式は校長の研修会で扱っている。
指導課長	○ 複式は該当の学校の、同じぐらいの規模の小学校の校長先生から研修会をもってほしいというオーダーが昨年、一昨年とあり、笠岡のほうのやっておられるところの実際の話聞く場を設けてはみたが、これから課題の1つになると思う。
審議監（学校教育担当）	○ 結局、校長が自分で複式を持ったことがないため、指導が何もできないということから言われてきて、市外の講師をお呼びして、去年は高梁のほうの校長先生を呼んで、校長だけではいけないからといって、教諭も研修というのはあるが、どうしてもセンターでやると、複式を知らない人ばかりが、ああでもない、こうでもな

<p>藤原委員 審議監（学校教育 担当） 天野教育次長</p>	<p>いとなるので、複式については県に行き一緒に勉強しようということで、今年から向こうへ行かせてもらおうと思う。経験不足はあるかなと思う。</p> <p>○ 岡山市には、複式はあまりないのか。</p> <p>○ これから増えるかもしれない。</p>
<p>藤原委員 天野教育次長 藤原委員 審議監（学校教育 担当） 天野教育次長 藤原委員</p>	<p>○ 以前は県北のほうに結構複式があったが、統合の関係でなくなった。今、残っているところで言うと、島しょ部と言うか、笠岡のあたりとか。</p> <p>○ 島とか。和気のほうもすごい学校が減って。</p> <p>○ 笠岡のほうも、もう統合とは言わないが、学校がなくなるという。</p> <p>○ 複々式というか、3つぐらい一緒とかいうのはないか。</p> <p>○ ない。標準法の中では、多分複式までだった。</p> <p>○ 複々式をつくらないというのが県教委の方針だった。</p> <p>○ そうしないと困るだろう。</p>
<p>審議監（学校教育 担当） 教育長</p>	<p>授業研究のところで、専門家が言われていたが、複式だったら塾みたいな形になる人数もあるだろう。それで1時間の50分とか45分の教育内容を2学年するとしても、すごく緊張感のない時間が多いのではないかと。だから、本当ならもっとできる時間があるのにそれほどできていないので、学校によってはいろいろな工夫が要るのではないかと聞いたことがある。そうは言っても、学習指導要領や教科書やいろいろな枠はあるだろうけども、意外ともっともっとできることはある。どちらにしても、複式の研究が少しできないと、同じことを人数が少なくてやるだけではいけない。</p> <p>○ 今年からICTが研究に入っているから、結構、退職校長先生が嘱託でセンターの指導員になられていて行ってくださるようになるので、前よりはちょっと指導の機会は増えるかもしれない。指導内容も含めて。</p> <p>○ 小規模校の弱みで、多様な意見が聞けないと、同級生の中で、少ないので。それをカバーするためにICTを使って他の学校とつなぎ、学校の同学年の生徒の意見を聞くような、今、そういう授業をつくるというのを進めている。</p>
<p>藤原委員 審議監（学校教育 担当） 天野教育次長 藤原委員 審議監（学校教育 担当） 天野教育次長 藤原委員 審議監（学校教育 担当） 教育長</p>	<p>ちなみに私も先頭切って学校訪問しないといけないので、今までに6校訪問した。小学校4校、中学校2校に行ったが、本当に先ほど話があったように、中学校の全部のクラスを見て回ったが、授業が少しずつ、少しずつ変わりつつあるなど。まだ全部が全部ではないが、先生が一方的にしゃべるのではなくて、子どもが活躍する授業をしていこうとされていると感じた。小学校は、学級もいろいろな形態で活発に意見を出し合える雰囲気醸し出したりしていたが、これから私自身がどういうふういろいろなことを言っていけばいいのか悩んだ6校でもあって、つまり単に全国調査の点が良くなるとかだけではないので、そこは難しいなど。ちょうどこの時期だから、修学旅行とか運動会とか、いろんな行事が多いというところで、まだまだ十分にしっかり取り組んでいることではないが、少し変わってきてという片りんが見えてきた学校訪問だった。</p> <p>○ 工場でも、ホーン効果といって、誰か見ている人がいれば効率が上がるということがあるので、オブザーバーがいるだけでも変わってくるのかなと思っている。</p> <p>○ 校長先生や教頭先生が、ちょっと喜んでくれた。教育長さん、わざわざ来てくれてありがとうございますと。恐らく次長や審議監も行くと思うが、きっとそれなりの効果はあろうかと思う。教育委員の皆さんもよろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは、事業報告についてよろしいか。</p>
<p>塩田委員 教育長 全委員</p>	<p>○ <承認></p>

7 議 事 の 大 要

<p>教育長 教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ただいまから6月岡山市教育委員会定例会を開会する。 ○ 本日は、傍聴希望者はいない。 ○ <承認> ○ 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよいか。 ○ <承認> ○ 日程第2、5月の定例会の議事録があるので順次ご覧いただき、問題がなければ署名願う。
<p>全委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <承認> ○ それでは、議事に入りたいと思うが、その前に会議の公開、非公開について諮りたい。日程第4の報告第15号及び第16号は、附属機関等の委員の任免に関する事項として、会議規則第7条第1項第2号に該当するため非公開としたいと思うが、委員の皆様、いかがか。
<p>全委員 教育長 教育長 教育企画総務課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ <承認> ○ それでは、日程第4の報告第15号及び第16号は非公開と決定する。 ○ 日程第4、報告第12号を教育企画総務課から報告願う。 ○ それでは、お手元の資料の1ページ、報告第12号専決処理の報告についてをご覧いただきたい。 このたび平成29年度岡山市一般会計補正予算（第1号）案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的な余裕がなかったため、5月24日に専決処理したものである。 内容については、資料の2ページ、平成29年度岡山市一般会計補正予算（第1号）についてをご覧いただきたい。 今回の補正予算案は、学校施設管理に係るもの並びに準要保護等児童生徒対策に係るものの2つの事務事業経費である。 1つ目は、市立曾根小学校に隣接する農地、約1,800平米を学校農園として活用するために使用させるものである。 2つ目は、就学援助のうち、新入学児童生徒学用品費の支給単価を増額改定しようとするものである。 これらに要するものとして、補正額4,973万3,000円を計上するもので、補正後の教育委員会の予算額は453億6,607万6,000円となる。なお、この教育委員会の予算額では、一般会計の教育費総額から市民生活局分、岡山っ子育て局分を除いたものとして資料を作成している。この補正予算案については、6月21日の市民文教委員会において審議の後、採決により可否が決定し、6月26日の本会議に諮られる予定である。 簡単であるが、以上で説明を終わる。
<p>教育長 藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告第12号について、何か質問、意見はないか。 ○ 内容ではないが、款項目の目の教育振興費の中の準要保護等の中に特別支援教育も入るのか。これは準要保護の家庭の子の特別支援ということだったか。
<p>就学課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準要保護の特別支援ということだけでなく、特別支援教育就学奨励費をもらっているの、実際にはまだ国から予算案が来ていないので単価の決定はしていないが、通年でいくと、就学援助の国の単価という、要保護児童の新入学学用品費の単価を増額改定するものだが、特別支援については、就学援助とは別の特別支援の金額の分が入っている。まだ確定はしていないので、予算上は上げさせていただいていることである。
<p>藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 改めて思ったのは、事業名が、この事業名の中に特別支援教育就学援助費が入るのかなというのが疑問だった。目は教育振興費としても、別の事業名があるわけではなくて、この準要保護等が入ってくるのか。
<p>就学課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ はい。等にしていないので、2つ合わせてということ。袋が一緒になっていて、就学援助も特別支援のほうも、一応扶助費ということになっているが、その扶助費については袋が一緒で、どちらが多くなってもいいように予算上入れ繰りができるよ

<p>藤原委員</p> <p>教育長 全委員 教育長 教育長 就園管理課課長補佐</p>	<p>うにということをやっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで何とも思わなかった。こうやってみたら同じ事業費で、どうなのかなと思って聞いた。 ○ では、報告第12号を承認してよろしいか。 ○ <承認> ○ 報告第12号を承認する。 ○ 続いて日程4、報告第13号を就園管理課から報告願う。 ○ 平成29年度一般会計補正予算(第1号)案のうち、岡山っ子育て局分について説明する。資料の6ページをご覧いただきたい。
<p>教育長 藤原委員</p> <p>就園管理課課長補佐</p>	<p>補正の内容としては、第20項幼稚園費、第1目幼稚園管理費の財源補正を行うものである。これは国が行う幼児教育の段階的無償化に対応した授業料の算定根拠の条例改正を行うことにより、幼稚園授業料の歳入が185万4,000円の減額になることに伴うものである。条例改正については、先だつての定例会で御説明させていただいている。今回の無償化の対象者が4月1日時点で116人であることを踏まえ、減額の積算をしたものである。</p> <p>簡単ではあるが、以上で岡山っ子育て局分の説明を終わらせていただく。審議のほど、よろしく願う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何か報告第13号について、質問、意見はないか。 ○ 補正とは直接関係ないが、幼稚園の、例えば、また来年もこういうのがあると思うが、今年は116名と言われたが、これは年々減るような感じか。 ○ 全体として、幼稚園に通われる方は年々少なくなっている状況ではある。国がどのような段階的無償化、次の段階でどのところを対象にして減額していくのかという政策の出し方によって対象人数は変わってくると思う。
<p>藤原委員</p> <p>教育長 全委員 教育長 教育長 スポーツ振興課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人数が少なくなったら影響が少ないようだが、でも幼稚園を選ぶ人が少ないのはちょっと残念なところがある。 ○ 報告第13号を承認してよろしいか。 ○ <承認> ○ 報告第13号を承認する。 ○ 続いて同じく日程第4、報告第14号、これをスポーツ振興課から報告願う。 ○ 報告第14号専決処理の報告について説明する。資料は7ページから9ページまでご覧いただきたい。 <p>本件については、平成29年度岡山市一般会計補正予算(第1号)案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案の同意について、岡山市教育委員会事務処理権限規則第6条の規定により専決処理をさせていただいたので報告し、承認を求めるものである。</p> <p>内容については、資料の8ページ。第10款教育費第30項保健体育費、この額を4,800万円増額し、補正後の金額が6,044万1,000円に補正をしようとするものである。中身については、今度は歳出であるが、同じく第30項保健体育費第5目体育振興費4,800万円だが、旭操小学校の学校開放事業に係る夜間照明設備の設置に係る費用である。測量委託料が93万円、工事請負費が4,707万円となっている。</p> <p>補足資料をご覧いただきたい。この事業費については、スポーツ振興くじ助成金、いわゆるtotoの助成金が1,600万円あり、そちらのほうは歳入を増額補正させていただいている。</p> <p>簡単ではあるが、以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 奥津委員</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>奥津委員 スポーツ振興課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告第14号について、質問、意見はないか。 ○ 旭操小学校の夜間照明は、一般の夜間の開放の分だと思うが、どんな目的というか、スポーツができる状況になるのか。 ○ 一般の夜間照明、運動場につけるものは明るさの基準があり、それが平均照明100ルクス以上ということで、サッカーあるいはソフトボール、そういった競技には十分耐え得る照度を有する夜間照明設備を設置するというものである。 ○ 学校的にも、ソフトボールとかサッカーとかが十分できる広さがあるのか。 ○ ある。

藤原委員	○ その関連で年に100回以上という、週に2回ぐらいは必ずということになるが、それはチェックがあるのか。100回ぐらい利用しているとか。
スポーツ振興課長	○ 夜間照明設備の設置については、最初に要望書をとらせていただく。その中で利用見込みが、そういった見込みがあるということを確認させていただいた上で、スポーツ振興くじの助成金がつき次第、具体的な予算化をして、事業として設置をしている。 お尋ねの利用人数の件だが、一旦設置をすると、あとは開放からの実績の報告書が出てくるので、そこで数は拾うが、チェックがついてないから外すと、数がないから外すことにはならないので、設置後は報告を順次いただいているということである。
藤原委員	○ 小学校とか中学校とか、地域によっては使用頻度が毎日のようなところもあれば、そうでもないところがあるのだろうなと思って。 もう一つ、この宝くじの助成金は、例えば、岡山市が今年度は計画として1校ですよと言ったら、何割負担かでこれが来るようなものか。それとも枠が決まっています、それを、例えば今年岡山市が2校つけたいと言ったら少し上乗せ、市の持ち出しが増えてするようなもの、どうなのか。
スポーツ振興課長	○ まず、補助が必ずつくというものではない。つけ方としては、一地方公共団体と言うか、一助成団体の学校開放事業に係る設備に対する助成という意味では上限がある。だから、例えば来年度2件の小学校について申請をしたとすると、1件分の補助割合は半分になるということで、年度に一度につけると、財政的には助成活用率も低い整備になっていくと。そういう制度になっている。
藤原委員	○ それなら、市の判断でオファーがたくさんあったら、つけてもいいわけか。持ち出しを確保すれば。
スポーツ振興課長	○ これは財政との協議になるが、やはり使える助成金、補助金は厳しい財政状況の中、ぜひ使つての整備という話があるので、委員お尋ねのとおり、理論的にはつけられるというお話にはなるが、実際には財政との協議の中で言うと、なかなか通りにくい状況にはある。
藤原委員	○ つけたいと言っても、順位というか、順番待ちもあるということか。今、何割ぐらいつけてあるのか、小中合わせたら。
スポーツ振興課長	○ 運動場の開放校が91校中88校あり、去年、福浜小学校に新設した。そのことを合わせて今、設置校が12校で、設置率は13.6%という状況である。また中学校については、運動場開放校の21校中10校に夜間照明が設置されており、設置率で言うと47.6%というのが現状である。
藤原委員	○ だんだんつけていたらいろんなメンテナンスも必要になるのだろうが、それはこの助成金は使えないということか。
スポーツ振興課長	○ 一番多いのはランプが切れて、それを交換するという修繕がぼちぼち出てくる。高所作業車を使ってでないでランプが取りかえられないということで、1件やれば、入札にもよるが、20万円近くはすぐにかかるということだが、助成制度は、活用はできないので、全負担、市で修繕をしていくことになる。
藤原委員	○ 結構これ、工事費も高い。それでメンテナンスもといったら、活用されていればそれでいいと思うが。
石井委員	○ どの小学校に順番につけていくかとか、そういう優先順位は、どういう協議の中で決まっていくのか、教えていただければと思う。
スポーツ振興課長	○ 基本的には要望書の出た順ということで整理をしている。その中で調整される場合もあるが、原則として要望書の提出順で整理をさせていただいている。去年が福浜小学校、今年が旭操小学校、もう1つ要望書が今現在出ているのが平津小学校である。要望書が出ているうちで未施工のものとして今、平津小学校が残っている状況にある。
石井委員	○ この助成金は、夜間照明だけに使えるものではなく、ほかのいろいろな用途にも使えるものという理解でよいか。
スポーツ振興課長	○ スポーツ振興くじ助成金のメニューについては、いろいろな種類がある。本当に国体のための会場が絶対必要だということになれば、そういった整備費に対して補助率がかかるが、そういうメニューもあるが、1つのカテゴリーとして、学校開放

塩田委員	事業に係る設備に関する助成があり、この夜間照明設備については、このメニューを利用して整備を進めているところである。
スポーツ振興課長	○ 設置校が多いので運用はしっかりしていると思うが、例えば、運用規定であるとか、夜間に照明が壊れたというときの管理、学校への負担ということになるが、どんな感じか。誰が管理をしているか、管理の主体が誰になるのか。
塩田委員	○ 夜間照明設備自体は、管理はスポーツ振興課で、修繕についてはあくまで教育委員会の事務の補助執行という形ではあるが、スポーツ振興課で担当している。緊急的に玉が切れて使えないところまでいくという事例は聞いたことがないが、そういったランプが徐々に切れて照度が足りなくなってくると、学校なり開放委員会なり利用者なりからスポーツ振興課へ報告が上がり、一定以上の球切れになると、球替えの修繕を予算から取ってくるという対応をしている。
教育長	○ 校長先生や教頭先生が出てくることはないということか。
教育長	○ 一時的には学校が取りまとめてというのはあるが、責任はとってくださるということである。
全委員	○ それでは、報告第14号を承認してよろしいか。
教育長	○ <承認>
	○ 承認する。以上で公開議案は全て終了し、非公開の審議に移る。

傍聴の状況		
報	道	0名
議	会	0名

平成29年6月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成29年6月9日（金）		
2 開会及び閉会	開会 14時40分		
	閉会 15時10分		
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	奥 津 晋	
	委 員	塩 田 澄 子	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	石 井 希 典	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	天 野 和 弘	統括審議監（企画調整担当）	小 西 洋 史
審議監（学校教育担当）	三 宅 泰 司	審議監（社会教育担当）	澤 岡 哲 雄
審議監（企画総務担当） （教育企画総務課長事務取扱）	村 田 守	指導課教育支援担当課長	服 部 道 明
保健体育課長	山 田 裕 史	保健体育課課長代理	泉 利 絵
事務局（教育企画総務課課長補佐）	生 田 裕 亘	事務局（教育企画総務課副主査）	山 口 博 正
5 議題及び結果			
報告第15号	岡山市学校給食運営検討委員会委員の委嘱について		承認
報告第16号	岡山市問題行動等対策委員会委員の委嘱について		承認